

平成28年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰
本県受賞者（団体）の功績等

1 生涯スポーツ功労者

氏名	安井 博志（やすい ひろし）
主要経歴	国体鳥取県チーム少年監督、鳥取県山岳協会競技副委員長
功績	平成14年に高校に部を創設して以降、国体で多数の上位入賞に導き続けるなど、高いレベルの選手育成を進めるとともに、自らも世界レベルでのコーチ理論を学び、山岳競技の楽しさや魅力を広く普及させる中で、競技を志す中学生や競技を楽しむ小学生も増加するなど、県内で着実に裾野が広がってきている。 また、大山町トレーニングセンターのクライミングボードの整備、県立倉吉体育文化会館でのリード壁の整備など、施設整備・体験機会の創出にも尽力している。

氏名	平岡 丈夫（ひらおか たけお）
主要経歴	鳥取県セーリング連盟副理事長等
功績	全国のヨット、ボート関係者とのネットワークも生かしながら、選手の技術指導・メンタル管理はもとより、障がいの有無を問わず子どもたちにスポーツを楽しんでもらう仕掛けづくりにも取り組むなど、生涯スポーツの推進に努めている。

氏名	井勢 智則（いせ ともり）
主要経歴	鳥取県レスリング協会強化部長等
功績	昭和60年のわかとり国体以来、31年間レスリング競技の入賞者を輩出し続けるだけでなく、全国各地の優秀指導者とのネットワークも確立し、その指導力を持ってジュニアの育成にも取り組むなど、裾野の拡大に多大な貢献をしている。

2 生涯スポーツ優良団体

団体名	創スポーツ少年団（米子市）
代表	代表指導者 椿 知夫
功績	<p>地域との連携により、日本スポーツ少年団が進めている幼児加入の促進や障がい児者の受け入れに早くから取り組んでいることから、日本体育協会が発行する情報誌でも特集されるなど、全国的にも評価が高い。</p> <p>また、鳥取県スポーツ少年団が開催している「宿泊交流兼ジュニアリーダースクール」への参加、大山ブナを守る会との協力によるブナ木を植える活動、大山ゴミ拾い等の環境保全活動への参加など、青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる。</p>

団体名	鳥取県弓道連盟（米子市）
代表	会長 齋木 幸雄
功績	<p>本県弓道は、平成27年度の和歌山国体で初となる競技別総合優勝を飾るなど、近年の全国大会でトップクラスの成績を残しているが、連盟として、活躍が目覚ましい高校生への指導のみならず、指導者向け講習会を通じてジュニア育成に努め、裾野の広がりを生み出している。</p> <p>また、シニア選手の指導を行い、県民スポーツ・レクリエーション大会やねんりんピックにも参加するなど、生涯スポーツとしての弓道の普及にも熱心に取り組んでいる。</p>

団体名	日野町スポーツ少年団（日野町）
代表	本部長 長谷川 弘信
功績	<p>団体数が2団（軟式野球、ソフトテニス）であり、団員も少ない状況であるが、日野町は県内で最もソフトテニスが盛んな地域であり、少年団で始めたソフトテニスを中学・高校でも継続する子供が多く、全国中学校ソフトテニス大会での団体優勝や個人優勝、ジャパンカップソフトテニス大会優勝など様々な全国大会で優秀な成績を収めている。</p> <p>安定したジュニア指導・育成体制を構築しており、小さい町ながらも裾野の維持・拡大に努めるなど、ソフトテニス王国として確固たる地位を築いている。</p>